



エコアクション21 環境経営レポート

第43期

(平成30年7月1日～令和1年6月30日)

太平電機株式会社

作成: 令和1年12月13日

訂正: 令和2年02月07日

社長	管理責任者
樋口	窪田



— 目次 —

1.組織の概要	3
2.環境経営方針	7
3.環境経営目標	8
4.環境経営計画と実績・評価	9
5.二酸化炭素排出量(実績)の推移	21
6.有益な環境側面の取組み	22
7.環境関連法規への違反・訴訟等の有無	23
8.代表者による全体の評価と見直し結果	24





1. 組織の概要

①事業所名及び代表者名

太平電機株式会社

代表取締役 樋口 公平

②所在地

本社

神奈川県横浜市神奈川区反町2-15-6

埼玉営業所

埼玉県上尾市本町3-7-6

③環境管理責任者及び担当者の連絡先

営業部

窪田 健

TEL 045-322-5055

FAX 045-322-5057





1. 組織の概要

④事業活動の概要

コネクター・スイッチ・ハーネス加工品・太陽電池・リチウムイオン電池の
企画・提案及び仕入れ・販売

⑤事業の規模及び認証・登録対象範囲

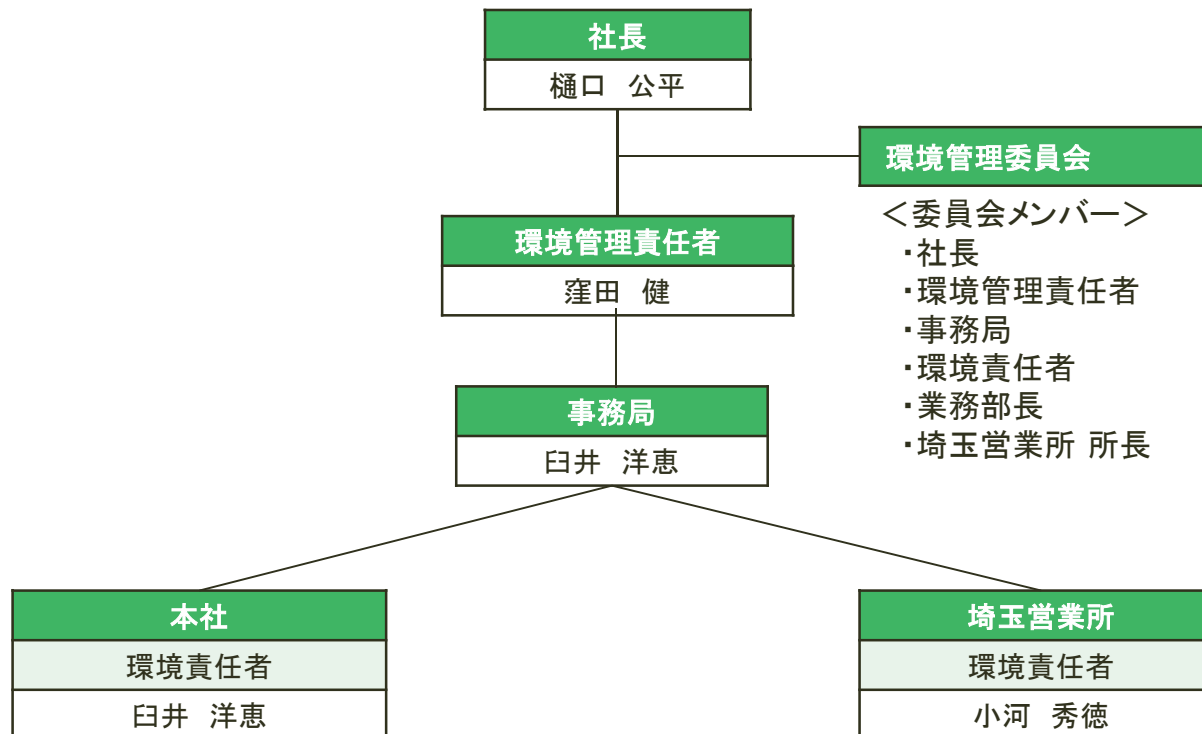
事業所	床面積	従業員	売上高	事業内容	登録範囲
本社	180㎡	14人	1,237百万円	1.-④項参照	全組織・全活動
埼玉	200㎡	6人	上記に含む	同上	同上





1. 組織の概要

⑥環境経営組織図





1. 組織の概要

主要な役割、責任・権限

職務	主要な責任と権限
社長	<ul style="list-style-type: none">・環境マネジメントシステムに必要な経営資源を準備し投入する。・環境管理責任者、事務局、環境責任者を任命する。・環境経営方針を制定する。・環境管理委員会を開催し、環境マネジメントシステム全体を見直す。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none">・環境マネジメントシステムを構築し、実施、維持する。・環境マネジメントシステムの実績を社長に報告する。・環境経営レポートを作成、公表する。・環境マネジメントシステムにつき外部関係者と連絡をとる。
事務局	<ul style="list-style-type: none">・環境経営マニュアルに定める環境管理責任者の実務を補佐又は代行する。
環境責任者	<ul style="list-style-type: none">・環境管理責任者の指示により環境活動計画を実施する。・環境負荷データを把握するとともに環境経営目標の達成状況を監視し、環境管理責任者に報告する。・必要な是正処置又は予防処置を実施する。・適用される環境関連法規制を遵守する。
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none">・環境マネジメントシステム全体を見直すために社長が開催する。・開催時期：原則毎年7月に開催し、必要に応じて臨時開催する。・出席者：社長、環境管理責任者、事務局、その他社長が指名する者。





2. 環境経営方針

環境経営方針

太平電機株式会社は電機部品を販売する商社として、地球環境の保全が地球全体の為の最重要課題であると認識し、企業活動の全ての領域において、地球環境の保全に配慮し行動します。

太平電機株式会社は以下のことを約束する。

- 1) 環境関連の法規制等を遵守する。
- 2) 環境活動プログラムを構築し継続的な改善を行う。
- 3) 次の事項を重点的なテーマとして環境目標を設定し推進する。
 - ① 電機部品の仕入れ・販売における環境負荷の低減。
 - ② 二酸化炭素排出量の削減。
 - ③ 廃棄物の削減とリサイクルの促進。
 - ④ グリーン調達の推進。
 - ⑤ 太平電機の商品が地球環境に貢献することを目指す。

この基本方針は全従業員に周知徹底させると共に社外にも開示します。

平成30年12月20日
太平電機株式会社
代表取締役 樋口 公平





3. 環境経営目標

3. 環境経営目標

No.	環境目標	単位	基準値 41期	43期	44期	45期
1	目標値：電気使用量の削減 管理値：CO2排出量 排出係数=0.462(平成29年度 東京電力エナジー パートナー(株))	kWh	19,156	18,964	18,773	18,581
		Kg-CO2	8,850	8,762	8,673	8,585
2	目標値：ガソリン使用量の削減 管理値：CO2排出量 排出係数=0.0183 単位発熱量=34.6	ℓ	2,566	2,540	2,515	2,489
		Kg-CO2	5,956	5,896	5,837	5,777
3	目標値：軽油使用量の削減 管理値：CO2排出量 排出係数=0.0187 単位発熱量=37.7	ℓ	2,705	2,678	2,651	2,624
		Kg-CO2	6,992	6,923	6,853	6,783
4	廃棄物排出量の削減 目標値：最終処分量	Kg	259	257	254	252
5	水使用量の削減 目標値：最終使用量	m ³	未設定	計測開始	279	276
6	環境配慮型製品の販売促進 (RoHS対応品などの環境配慮設計製品)	百万円	1,356	1,370	1,383	1,397
7	環境配慮型製品の調達(仕入) (RoHS対応品などの環境配慮設計製品)	百万円	1,167	1,179	1,190	1,202

※二酸化炭素発生源に関する目標値は、kWhとリットルとする。





4. 環境経営計画と実績(電気使用量)

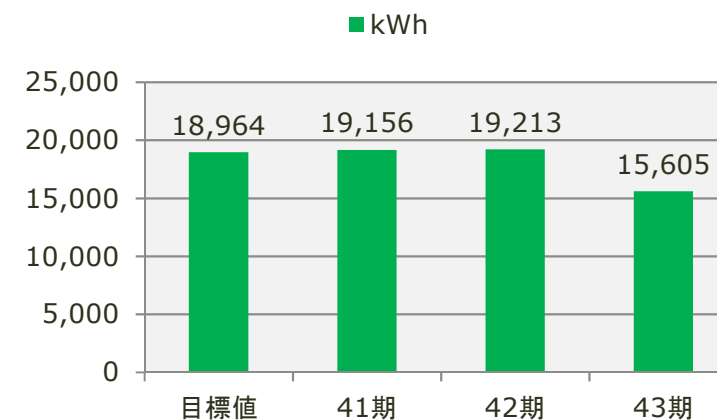
4.-1計画

No.	環境目標	目標値		No.	目標達成手段	期間
1	電気使用量の削減	18,964	kWh	1	空調設定温度厳守	通期
	基準値の1%減			2	クールビズ、ウォームビズの実施	
				3	不要灯の消灯	
				4	ソーラーパネルの導入	
				5	働き方改革により残業削減	

電気使用量

<43期実績>

	今期目標		実績		対比
通期	18,964	kWh	15,605	kWh	△18%
上期	9,482	kWh	8,380	kWh	△12%
下期	9,482	kWh	7,225	kWh	△24%





4. 環境経営計画と実績(電気使用量)

評価と次年度の取り組み

<評価>

目標:達成

要因:新設した埼玉営業所の電源をソーラー発電システムにしたことにより大幅に使用量の削減ができた。
働き方改革による時間外使用量の削減ができた。
環境活動実施計画の【冷暖房の温度設定厳守】【効果的な使用(扇風機の併用)の実施】を周知徹底出来ていた。

<是正・予防処置>

<次年度の取り組み>

引き続き目標達成手段の継続実施。

目標値=41期データ【基準値】の2%減。





4. 環境経営計画と実績(ガソリン使用量)

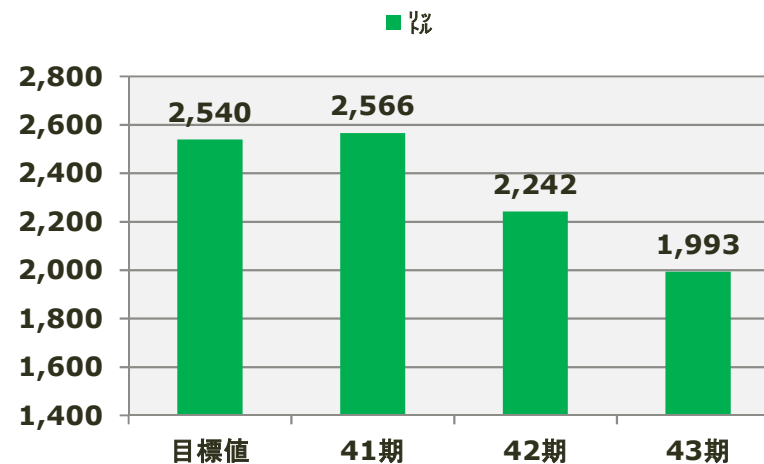
4.-2計画

No.	環境目標	目標値		No.	目標達成手段	期間
2	ガソリン使用量の削減	2,540	ℓ	1	効率の良い運行=エコドライブ10のすすめ	通期
	基準値の1%減			2	公共交通機関の利用	

<43期実績>

	今期目標		実績		対比
通期	2,540	ℓ	1,993	ℓ	△22%
上期	1,270	ℓ	1,183	ℓ	△7%
下期	1,270	ℓ	810	ℓ	△36%

ガソリン使用量





4. 環境経営計画と実績(ガソリン使用量)

評価と次年度の取り組み

<評価>

目標:達成

要因:1年を通して県外移動回数が多く、頻繁に公共交通機関の利用が出来ていた。

<是正・予防処置>

<次年度の取り組み>

引き続き目標達成手段の継続実施。

「エコドライブ10のすすめ」のポスターを印刷して社用車とスペアキー置き場に掲示し周知する。

目標値=41期データ [基準値] の2%減。





4. 環境経営計画と実績(軽油使用量)

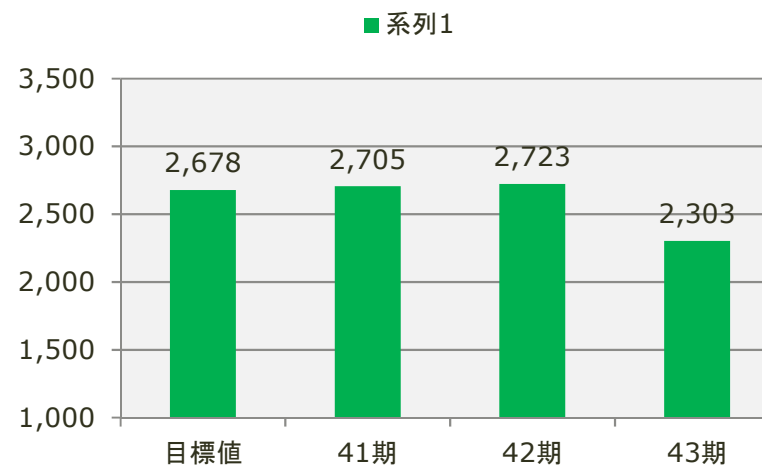
4.-3計画

No.	環境目標	目標値		No.	目標達成手段	期間
3	軽油使用量の削減	2,678	ℓ	1	効率の良い運行=エコドライブ10のすすめ	通期
	基準値の1%減			2	公共交通機関の利用	

<43期実績>

	今期目標		実績		対比
通期	2,678	ℓ	2,303	ℓ	△14%
上期	1,339	ℓ	1,136	ℓ	△15%
下期	1,339	ℓ	1,167	ℓ	△13%

軽油使用量





4. 環境経営計画と実績(軽油使用量)

評価と次年度の取り組み

<評価>

目標:達成

要因:1年を通して県外移動回数が多く、頻繁に公共交通機関の利用が出来ていた。

<是正・予防処置>

<次年度の取り組み>

引き続き目標達成手段の継続実施。

「エコドライブ10のすすめ」のポスターを印刷して社用車とスペアキー置き場に掲示し周知する。

目標値=41期データ【基準値】の2%減。





4. 環境経営計画と実績(廃棄物排出量)

4.-4計画

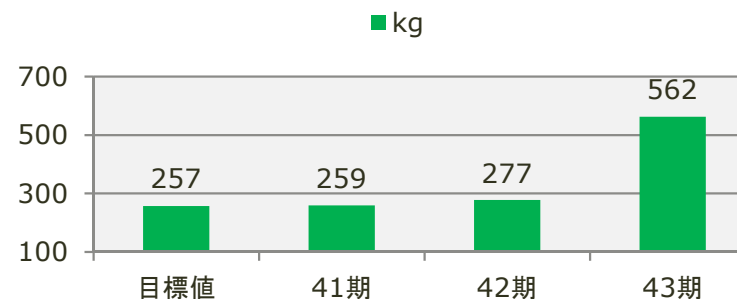
リデュース (Reduce) →ゴミそのものを減らす
 リユース (Reuse) →何回も繰り返し使う
 リサイクル (Recycle) →資源として再利用する。

No.	環境目標	目標値		No.	目標達成手段	期間
4	廃棄物排出量の削減 (最終処分量)	257	kg	1	ゴミの分別の徹底	通期
	基準値の1%減			2	3R(Reduce Reuse Recycle)の実施	
				3	コピー用紙使用量の削減、裏紙利用、資料のペーパーレス化	

<43期実績>

	今期目標		実績		対比
通期	257	Kg	562	Kg	+119%
上期	129	Kg	315	Kg	+145%
下期	128	Kg	247	Kg	+93%

廃棄物排出量





4. 環境経営計画と実績(廃棄物排出量)

評価と次年度の取り組み

<評価>

目標:未達成

要因:2018年7月=埼玉営業所の社屋新設による旧営業所不用品の処分(突発要因)。

2018年12月=本社倉庫品の移動、改装による不用品処分(突発要因)。

使用済みコピー用紙の廃棄について、今まで計測していなかったが43期から計測開始したため。

<是正・予防処置>

使用済みコピー用紙の廃棄について、目標値の再設定を行うとともに、廃棄量の推移を見守る。

<次年度の取り組み>

新たな目標値を設定し、ペーパーレス化など引き続き廃棄物削減に努める。

目標値=43期データ [基準値] の1%減。





4. 環境経営計画と実績(水使用量)

4.-5計画

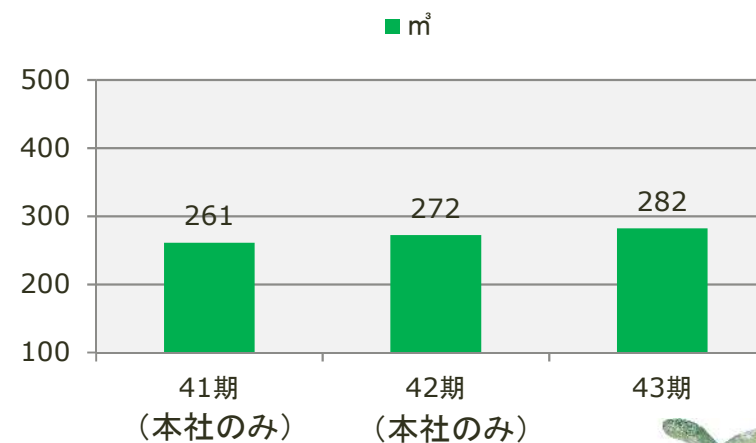
N O.	環境目標	目標値		No.	目標達成手段	期 間
5	埼玉営業所を2018年7月に 川口市から上尾市へ移転した為 水使用量の実態把握する	—	m ³	1	漏水/垂れ流しの防止	通 期

<43期実績>

	実績	
通期	282	m ³
上期	138	m ³
下期	144	m ³

43期の実態把握した。
実績の「282m³」を次年度以降の基準値とする。

水道使用量





4. 環境経営計画と実績(水使用量)

評価と次年度の取り組み

<評価>

目標:達成

要因:使用量が少ないが、さらに節水に努めた。

<是正・予防処置>

<次年度の取り組み>

目標値=43期データ [基準値] の1%減。





4. 環境経営計画と実績(環境配慮型製品の販売促進)

4.-6計画

No.	環境目標	目標値		No.	目標達成手段	期間
6	環境配慮製品の販売促進	1,370	百万円	1	新規顧客の開拓	通期
	基準値の1%増			2	定期的な営業勉強会	
				3	付加価値のある営業	
				4	効率的なエリア営業	
				5	新規商品の仕入れ、販売促進	

<43期実績>

前期実績		目標値		今期実績		目標達成率
1,437	百万	1,370	百万	1,237	百万	90%

<評価>

目標:未達成

複数の大口顧客からの受注が減り大きく売上が減ってしまった。特にハーネス製品の受注。

<次年度の取り組み>

大口顧客の依存度を減らすため、他顧客でのハーネス製品のシェアを上げ、かつ流出顧客も減らす。

目標値=41期データ【基準値】の2%増。





4. 環境経営計画と実績(環境配慮型製品の調達仕入)

4.-7計画

No.	環境目標	目標値		No.	目標達成手段	期間
7	環境配慮製品の調達(仕入)	1,179	百万円	1	新規仕入先の開拓	通期
	基準値の1%増			2	定期的な営業勉強会	
				3	付加価値を付け提案営業	
				4	新規商品の仕入	
				5		

<43期実績>

前期実績		目標値		今期実績		目標達成率
1,231	百万	1,179	百万	1,053	百万	89%

<評価>

目標:未達成

特にハーネス製品の仕入れが減少

<次年度の取り組み>

環境配慮型製品の販売促進と連動しているため、今後は販売促進に統合し調達仕入としては取り組みを行わない。

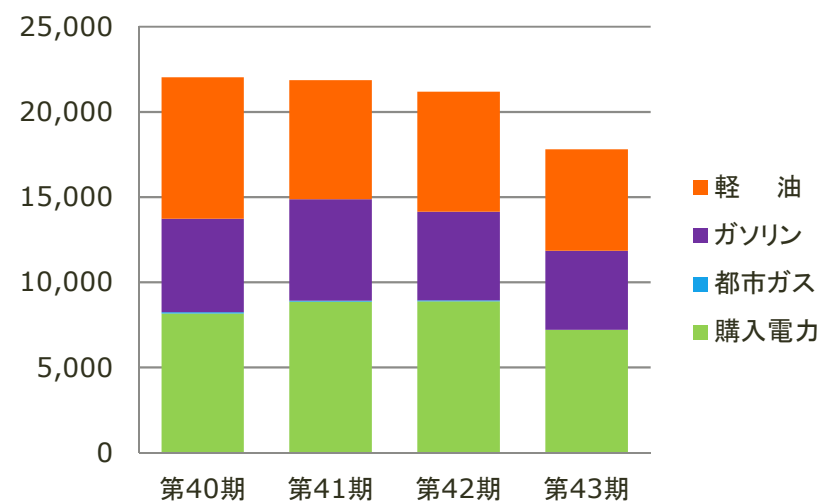




5. 二酸化炭素排出量(実績)の推移

エネルギー	第40期	第41期	第42期	第43期
購入電力	8,168	8,850	8,876	7,210
都市ガス	69	56	53	0
ガソリン	5,479	5,954	5,205	4,628
軽油	8,303	6,992	7,038	5,953
二酸化炭素 総排出量	22,019	21,852	21,172	17,791

二酸化炭素総排出量(kg-CO₂)



※単位: kg-CO₂

※温室効果ガス排出量 = 活動量 × 排出係数

※排出係数 電力: 0.462 (東京電力エナジーパートナー(株)の平成29年度排出係数)

各使用量が減り、二酸化炭素の総排出量は大幅に減少





6. 有益な環境側面の取組み

!! 太平電機の取組み内容を一部ご紹介します!!

太平電機「ECOひいきプロジェクト」では野鳥や野生動物のタオルを作成し、売り上げの一部を自然保護団体に寄付しています。

<43期の主な活動>

2018年12月に奄美猫問題シンポジウム「にゃんともフェスティバル」に協力。

2019年2月より徳之島にて販売・寄付の開始。

2019年3月にオオトラツグミー斉調査に協力。

<ECOひいきプロジェクト>

2019年6月末までの寄付金 262,458円



地域の自然を守るタオル





7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

法規制の名称	遵守状況の確認及び結果	違反・訴訟の有無
廃棄物処理法	遵守されている。	無し
自動車NOx・PM法	遵守されている。	無し
家電リサイクル法	遵守されている。	無し
小型家電リサイクル法	遵守されている。	無し
フロン排出抑制法	遵守されている。	無し
消防法	遵守されている。	無し
RoHS指令	遵守されている。	無し

①遵守状況

環境関連法規等の取りまとめ表で問題の無いことを確認致しました。

②違反、訴訟等について

過去3年間、関係機関等からの指摘、地域からの苦情・訴訟等はありませんでした。





8. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

①全体評価

項目	環境管理責任者の報告内容	代表者の評価及び指示	
		今年度の評価	次年度への改善指示
前期見直しの社長指示への取り組み結果	<p>代表者指示： 「環境配慮型製品の販売促進」 目標1370百万円とします。</p> <p>結果：1237百万円</p>	<p>目標金額は未達成となったが、粗利率は高水準を維持。大口顧客からの受注減の影響が大きかった。</p>	<p>大口顧客に依存しないよう他顧客でのハーネス製品シェアを上げ、かつ流出顧客も減らす。 「環境配慮型製品の販売促進」基準値の2%増を目指す。</p>
審査指摘事項の改善状況	<p>前期指摘事項： ガイドライン2017年版に合わせ提出書類の文言を統一すること。「環境への負荷の自己チェックシート」のco2排出係数を2017年版に合わせること。</p>	<p>今年度からガイドライン2017年版を適用している。</p>	<p>引き続き、ガイドライン2017年版に合わせた取り組みを行うこと。</p>
環境関連法規制の遵守状況	<p>遵守されている。</p>	<p>遵守されている。</p>	<p>引き続き、法令遵守徹底こと。</p>
環境目標の達成状況	<p>電気使用量の削減……………達成 ガソリン使用量の削減……………達成 軽油使用量の削減……………達成 廃棄物排出量の削減……………未達成 水使用量の削減……………達成 環境配慮型製品の販売促進…未達成 環境配慮型製品の調達……………未達成</p>	<p>廃棄物の大幅な増加の原因は、上尾への引っ越しと倉庫の統合によるもの。コピー用紙廃棄はしっかりカウントすること。上尾のソーラーパネル導入の効果は大きかった。環境配慮型製品の販売と調達は、大口顧客の受注減に影響を受けた。</p>	<p>慢性的に廃棄物が増えていないか注視すること。 環境配慮型製品の販売と調達は、上記の通りハーネス製品に注力して目標達成を目指すこと。調達は販売に連動するため統合する。</p>





8. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

①全体評価

項目	管理責任者の報告内容	代表者の評価及び指示	
		今年度の評価	次年度への改善指示
環境経営計画書の実施状況	全体的に周知、実施出来ておりますが一部未達成の項目について、次年度より状況把握に務める。	電気使用量が大きく減ったことは評価できる。ガソリン、軽油の使用量減少も評価する。	引き続き電気使用量など数値をウォッチしていくこと。販売・調達の改善に力を入れること。調達は販売に統合する。
是正処置・予防処置の実施状況	環境配慮型製品の販売・調達は景気動向など外部要因の影響がある。廃棄物の量は新たに目標設定を行い削減に努める	廃棄物の量は、埼玉営業所の引越し、倉庫統合の準備により増加したことは了解。コピー用紙廃棄カウント漏れも了解。	コピー用紙以外に廃棄カウント漏れがないか点検すること。販売・調達は増加に転じるよう取り組み方法を具体的に決める。
緊急事態対応手順訓練の結果	当社は商社のオフィス業務であるため、火災・地震以外の「環境上の緊急事態」は想定されません。 緊急事態連絡先 社長又は、本社、埼玉営業所へ連絡。	問題なし。	現状維持。
外部からの苦情・要望	特になし。	問題なし。	苦情等が起こらないよう活動を継続のこと。





8. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

②環境経営システムの変更の必要性

環境方針		
環境経営方針	有り	無し
環境経営目標	有り	無し
環境経営計画	有り	無し
実施体制	有り	無し

以上

